

# 防衛政策と防衛産業の転換点

～防衛装備移転三原則は何を変えるのか～

—講師—

拓殖大学 海外事情研究所 所長

国際学部教授 佐藤 丙午 氏

日時 2026年8月3日(月) 午後1時～3時

受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

2026年4月に防衛装備移転三原則が改正され、日本の武器輸出は基本的に自由化された。これにより、政府と産業側双方が持つ選択肢が増加し、防衛装備移転を政治的な手段として活用することが容易になった。

しかし、防衛装備移転は政府全体で取り組む必要があり、それに向けた準備体制は十分ではない。戦争の変化が指摘される中で、様々な政策の再構築が必要になっている。

1. 防衛産業と自衛隊
2. 防衛力と防衛産業
3. 戦争の変化
4. 防衛産業のグローバル化
5. 継戦能力
6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 佐藤 丙午(さとう へいご)氏

一橋大学院修了

防衛庁 防衛研究所 主任研究官

拓殖大学 海外事情研究所 教授

